

## 1年復興教育

## ～取材し新聞にまとめる～

9月30日（木）5，6，7校時、1年生は総合的な探究の時間の学習として、復興教育に取り組みました。

岩手日報社さんの協力のもと、「地域の課題を考え、解決に向けて行動を起こせるような姿勢を育む」を目標に、東日本大震災の語り部の方々からお話を聞き、深めたい点をインタビューして深め、新聞にまとめる学習です。

以下の6名の方々をお招きして、震災当時のこと、復興、地域の活性化などについてお話を伺いました。今後はこのお話をまとめる新聞作成に取り組みます。

氏名	役職等
大坂 富夫 氏	SAVE IWATE 元陸前高田市社会福祉協議会事務局長 盛岡市在住
君ヶ洞 剛一 氏	ヤマキイチ商店専務 釜石市在住
伊藤 聡 氏	一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校代表理事 釜石市在住
鈴木 多聞 氏	岩手日報社文化部次長 元陸前高田支局長
三浦 隆博 氏	岩手日報社整理部記者 元久慈支局記者
佐藤 瑛子 氏	岩手日報社文化部記者 元大船渡支局記者

語り部の皆さんからの講義を聞いての生徒の感想です。

### 1組 橋山太一さん

伊藤さんと鈴木さんの話を聞き、どう行動するか早く判断し、またすべきことをし続けることの大切さを感じました。それとともに、災害への対策と、災害について知ることが、今の私たちに必要なのだと思いました。

### 2組 佐藤里菜さん

君ヶ洞さんは、震災後、地域の方々の笑顔を取り戻すために、祭りの復活に携わったそうです。「自分たちに何ができるか」「あたりまえのことを見直す」「誰かのおかげで生きている」という言葉を聞き、本当に共感できたと、大切にしなければいけないことだと思いました。

### 3組 川村梨来さん

三浦さんの講義から、亡くなられた方々の命を決して無駄にはしては行けないと学びました。失われた命は戻ってきません。しかし、何故亡くなってしまったのか、どう行動すればよかったのか、後世に繋げることができます。未来を生きる人たちの命が一つでも救われるよう、私たちは今までの教訓を繋いでいく必要があると思いました。

被災者の方の想いを聞き、地震と津波の恐ろしさを再確認したとともに、地震が起きたときにすべき行動、被災地の課題を知ることができました。



#### 4組 日影みなみさん

避難所に指定されている場所でも、津波の高さによって全然避難場所にならず、波に飲み込まれてしまうことがあると聞き、あらかじめ避難場所を知って、何かあったらそこに避難することも大事だが、災害時は状況によって判断したり対応したりすることが必要だと思いました。

#### 5組 川村和花さん

伊藤さんのお話を聞いてはじめて思ったことは、津波は想像していた以上に恐ろしく、ほんのわずかな時間で全てを失ってしまうことがあるということでした。しかし、伊藤さんは明るい未来をつくるための前向きなお話もしてくれました。印象的だったのは、「子どもたちの第3の居場所づくり」というものです。学校でも家でもない第3の居場所を作ること、多くの子どもたちが安心して過ごし、その結果子どもたちの笑顔が増えるということです。未来を担う世代が、明るく笑顔でいてくれることは、その町の安心にもつながり、よりよい町になっていくのではないかと思います。

#### 6組 曾根大和さん

震災から10年たった今、私たちがしなければいけないことは何だろう、そういう思いでこの講義に臨みました。佐藤さんから、災害が起きたときの心得を教えてくださいました。「自分の身体で、見て、聞いて、考えて、知る」ということです。どのようなことが起こるかが分からないのが災害です。さらに、情報なしで勝手に行動するのも命取りです。ならば、自分自身で確認し、適切な行動をすることが身を守る第一歩だと思います。災害大国に暮らす私たち、災害を予知することはできないので、少しでも被害を減らす行動を心がけていきたいです。



## 県高等学校総合文化祭ポスター 最優秀賞

柏原美斗さん(美術部 1年)

令和3年度岩手県高等学校総合文化祭ポスターコンクールにおいて、美術部1年の柏原美斗さんが最優秀賞を獲得しました。このコンクールは、今年度の高総文祭テーマ「歴史満ちる海 想像の波寄せる砂浜に 残せ我らの文化の足跡<sup>そくせき</sup>」を元に、岩手県の特徴や文化活動をイメージして作成したポスターのコンクールです。最優秀賞作品は、今年度の県高総文祭のポスターやパンフレットに使用されます。1年生の柏原さんは、最初の挑戦で栄冠を獲得しました。

本来であれば、岩手県高等学校総合文化祭総合開会式で表彰される予定でしたが、中止となったため、10月6日(水)本校校長室で、県高等学校文化連盟会長の本校 上柿 剛 校長より授与されました。

また、第2位には美術部2年の畠山千陽さんが入りました。

### 柏原美斗さんの受賞のことば

私にとって高校生になって初めて取り組んだコンクールで、いろいろな試行錯誤をしながら一生懸命取り組んだので、最優秀賞をいただけて、とても嬉しかったです。岩手の歴史や文化から、たくさんのことを学び、私たち高校生がこれからの明るい岩手を創っていききたいという思いからポスターを描きました。

